



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション

上場取引所

東

コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長 (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,273	△27.8	△410	—	△345	—	△232	—
2023年3月期第3四半期	10,071	△9.1	8	—	69	—	81	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 629百万円 ( 35.7%) 2023年3月期第3四半期 463百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△57.70	—
2023年3月期第3四半期	20.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,358	12,431	47.2
2023年3月期	25,808	11,900	46.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,431百万円 2023年3月期 11,900百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△6.8	70	378.3	150	9.7	120	84.5	29.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	4,069,747株	2023年3月期	4,069,747株
2024年3月期3Q	33,835株	2023年3月期	50,505株
2024年3月期3Q	4,029,292株	2023年3月期3Q	4,011,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、社会経済活動が正常化へ向かっており、国内景気は緩やかな回復基調となりました。

一方、長期化するウクライナ情勢に加えて中東情勢が緊迫するなど不安定な状況が続いていることもあり、資源・資材価格の高騰や円安傾向が続き、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下にあって当社グループは、未だ、円安影響の残る中、仕入価格の見直しを行い売上総利益率の改善や、販売費及び一般管理費における経費削減に努めてきました。しかし、一部事業で受注額が減少したことや高経費体質の販売事業から撤退したこと等が大きく影響し、前第3四半期連結累計期間に比べ減収となりました。

厳しい経営環境下ではありますが、当社グループは、2022-2024年度を計画期間とする中期経営計画に基づき、引き続きコア事業の強靱化と新規事業開発の促進を行うとともに、消費者へのダイレクト提案やコスト削減による効率経営の実践と経営資源の有効活用による生産性の向上に注力してまいります。培った商人魂とフロンティア精神のもと、モノを製造するだけでなく、そこから生まれるサービスをどう広げられるかを追求し、伝統の継承とともに改革を実行することで、企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は7,273百万円（前年同期比27.8%減）、営業損失は410百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常損失は345百万円（前年同期は経常利益69百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は232百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

#### <和装事業>

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、高経費体質の催事から撤退したこと等により減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は669百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント損失（営業損失）は139百万円（前年同期はセグメント損失132百万円）となりました。

#### <洋装事業>

メンズ事業、レディース・OEM事業につきましては、円安傾向が続き、主要得意先によるメーカーや工場への直接発注が進んだことで受注額が減少して大幅な減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の第2四半期及び第3四半期での納入案件が減少したことにより減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は3,188百万円（前年同期比17.3%減）、セグメント損失（営業損失）は186百万円（前年同期はセグメント損失126百万円）となりました。

#### <ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、前年度に特需としてあった春夏物の一括納品がなくなったことに加えて、店頭販売が不振なことによりOEMでの受注が減少したため大幅な減収となりましたが、黒字基調は続いております。

以上の結果、当事業分野の売上高は706百万円（前年同期比65.3%減）、セグメント利益（営業利益）は69百万円（前年同期比76.5%減）となりました。

#### <健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、GMSや家電量販店での販売は好調に推移しましたが、主力であるテレビ等の通信販売の不振により大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,836百万円（前年同期比28.7%減）、セグメント損失（営業損失）は375百万円（前年同期はセグメント損失200百万円）となりました。

<建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化はなく、前連結会計年度並みに推移しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は789百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は437百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産の部は、流動資産における受取手形及び売掛金が1,014百万円減少したこと及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価等により1,276百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ550百万円増加し、26,358百万円となりました。

負債の部は、流動負債における支払手形及び買掛金が265百万円減少し、固定負債における繰延税金負債が投資有価証券の時価評価による税効果により387百万円増加したこと等がありました。負債合計は前連結会計年度末から大きな変動は無く13,926百万円となりました。

純資産の部は、株主資本における利益剰余金が配当金及び親会社株主に帰属する四半期純損失により353百万円減少し、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が885百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ531百万円増加し、12,431百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2023年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,169,450	2,292,025
受取手形及び売掛金	1,968,590	953,959
電子記録債権	101,082	156,559
棚卸資産	1,789,011	1,865,041
その他	712,551	777,630
貸倒引当金	△220	△20
流動資産合計	6,740,465	6,045,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,086,864	2,013,071
土地	10,562,576	10,562,576
その他(純額)	108,416	102,430
有形固定資産合計	12,757,857	12,678,078
無形固定資産		
その他	64,427	79,158
無形固定資産合計	64,427	79,158
投資その他の資産		
投資有価証券	4,721,142	5,997,620
出資金	800,115	800,115
退職給付に係る資産	642,574	664,925
その他	217,071	228,910
貸倒引当金	△135,501	△135,091
投資その他の資産合計	6,245,402	7,556,480
固定資産合計	19,067,687	20,313,717
資産合計	25,808,153	26,358,914
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,040,991	775,456
電子記録債務	1,114,186	930,756
短期借入金	5,051,284	4,747,781
1年内返済予定の長期借入金	1,430,000	1,300,000
未払法人税等	32,138	15,030
未払消費税等	10,665	—
契約負債	16,508	8,019
その他	446,714	405,584
流動負債合計	9,142,490	8,182,628
固定負債		
長期借入金	1,550,000	2,080,000
繰延税金負債	2,263,159	2,650,691
再評価に係る繰延税金負債	12,660	12,660
退職給付に係る負債	211,575	214,256
資産除去債務	3,032	3,032
その他	724,523	783,665
固定負債合計	4,764,952	5,744,307
負債合計	13,907,442	13,926,935

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	710,644	713,177
利益剰余金	6,809,814	6,456,729
自己株式	△60,710	△40,705
株主資本合計	10,289,593	9,959,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,504,803	2,390,312
繰延ヘッジ損益	5,281	△1,776
土地再評価差額金	9,152	9,152
退職給付に係る調整累計額	91,879	75,243
その他の包括利益累計額合計	1,611,117	2,472,932
純資産合計	11,900,710	12,431,978
負債純資産合計	25,808,153	26,358,914

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,071,595	7,273,873
売上原価	7,537,645	5,234,263
売上総利益	2,533,950	2,039,609
販売費及び一般管理費	2,525,411	2,450,318
営業利益又は営業損失(△)	8,538	△410,708
営業外収益		
受取利息	2,543	2,143
受取配当金	119,367	114,476
投資有価証券売却益	4,250	9,072
保険配当金	6,026	5,582
その他	32,141	10,683
営業外収益合計	164,329	141,958
営業外費用		
支払利息	71,791	68,520
手形売却損	1,284	1,426
為替差損	24,526	877
その他	5,396	5,495
営業外費用合計	102,999	76,320
経常利益又は経常損失(△)	69,868	△345,070
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	69,868	△345,070
法人税、住民税及び事業税	△11,154	△112,563
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	△11,154	△112,563
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81,023	△232,507
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	81,023	△232,507
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406,137	885,508
繰延ヘッジ損益	△11,866	△7,057
退職給付に係る調整額	△11,701	△16,635
その他の包括利益合計	382,569	861,814
四半期包括利益	463,593	629,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,593	629,307
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	856,432	3,835,052	2,039,175	2,573,926	718,783	10,023,370	48,225	10,071,595
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,786	21,653	—	2,421	60,452	88,314	447	88,762
計	860,219	3,856,705	2,039,175	2,576,348	779,235	10,111,685	48,673	10,160,358
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△132,444	△126,308	295,256	△200,105	416,508	252,905	△69,621	183,284

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「ホームファニシング事業」の店舗に係る固定資産及び在庫を譲渡したこと等により、前連結会計年度の末日に比べ「ホームファニシング事業」のセグメント資産が540,095千円減少しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	252,905
「その他」の区分の損失(△)	△69,621
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△174,745
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	8,538

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	668,482	3,188,142	693,009	1,832,736	728,589	7,110,960	162,912	7,273,873
セグメント間の 内部売上高又は振替高	588	178	13,850	3,478	61,102	79,198	1,642	80,840
計	669,070	3,188,321	706,859	1,836,215	789,691	7,190,159	164,554	7,354,714
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△139,023	△186,946	69,501	△375,446	437,838	△194,076	△40,919	△234,996

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との  
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△194,076
「その他」の区分の損失(△)	△40,919
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△175,712
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△410,708

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。